

第6回

本セミナーは 工学部数理工学科第2回FD研修 を兼ねる

合田 正毅 氏

(新潟大学 名誉教授)

物理教育研究 (Physics Education Research PER) とは何か？

教育は人類の歴史とともにありますが、今も未解決の課題を多く抱えており、私達は日夜呻吟しています。近年日本でもアクティブラーニングやインタラクティブな教育が流行していますが、それらは一体どのような基盤の上に何を実現しようとしているのでしょうか？

本講演では、最近の教育の動向の基盤にあるが日本ではあまり知られていない、米国での物理教育研究 (PER) の成果の一部を私なりの視点から紹介し、それらを日本の物理教育に活用して行くことの有効性とそのための基盤形成の必要性について考えてみます。

サイエンスの立場から教育を語るためには、教授者の側の努力に付いて語るだけではなく、受容者の頭脳がどのような状態からどのように形成されてゆくかを認知科学の助けを借りながら“計測”に基づいて検証して行き、そこにどのような働きかけをすることが有効かも“計測”に基づき検証して行く必要があります。

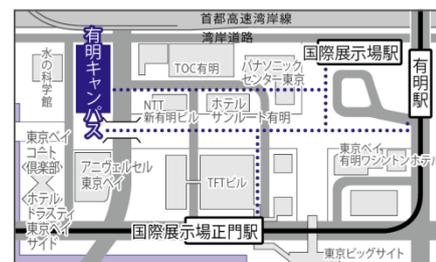


(左図) 米国のPER研究拠点の分布図
(ネット上の PER Centralから)
大学の物理学科が主力。L. McDermott は
1970年代に、逆境の中から最初の研究拠点を
University of Washington に立ち上げた。

2月18日(木) 16:30-18:00

武蔵野大学有明キャンパス, 1号館 4階 406室

事前登録不要・参加無料：どなたでも自由にご参加いただけます。



りんかい線「国際展示場駅」徒歩7分

